

### 1. 概要

【目的】日本文化、社会、政治、経済などに興味を持つマレーシアの青年たちが、日本に関する理解を深め、日本とマレーシアの友好関係を促進することを主目的として、本プログラムを実施しました。

【参加者】マレーシアの大学生・大学院生・社会人  
(若手行政官等) 計 190 名

【訪問地】愛媛県、東京都、愛知県、岐阜県



### 【日程】

日付 訪問地	内容	参加者の質問・反応
2021年 1月28日 愛媛県	<p>(他のプログラムと合同実施) 【ウェビナー・質疑応答】 マレーシアの大学生・大学院生・社会人 183名</p> <p>1. 愛媛県の国際交流事業 講師：愛媛県国際交流課 木村 朋宏氏</p> <p>2. マレーシアとのホストタウン交流 講師：愛媛県スポーツ・文化部スポーツ局地域スポーツ課オリパラ・マスターズ推進室 萩原 健氏</p> <p>3. 愛媛県の魅力と国際交流員の活動紹介 講師：愛媛県新居浜市市民環境部地域コミュニティ課国際交流員 ヌル・ファラナス・アブ・マンスル氏</p>	<p>「愛媛県とマレーシアの間で、今後、スポーツ以外の分野への交流拡大の可能性」「県独自のプログラムへの参加や応募方法」「愛媛県内でのムスリム対応(ハラルフードのレストラン、祈禱のための場所等)」等についての質問がありました。同胞の交流員から直接話を聞くことが出来たこともあり、チャット上、多くの関心が寄せられました。</p>
以下5日間の参加人数：7名（以下のプログラムは他のプログラムと合同で実施）		
2022年 3月17日 ～	<p>【動画視聴】</p> <p>1. 外務省挨拶</p> <p>2. 日本文化理解（京都）</p> <p>3. 広島ピースツアー</p>	<p>プログラムへの理解を深めるため、参加者は日本やプログラムに関する動画を視聴してから参加しました。</p>

	4. 南三陸町からのメッセージ	
2022年 3月23日 東京都	<p>【オリエンテーション】【ウェビナー・質疑応答】</p> <p>1. オリエンテーション</p> <p>2. 講義 「日本の社会と文化」 講師：アンドラディ 久美氏</p> <p>3. グループ別オリエンテーション</p>	<p>オリエンテーションでは、参加者が本プログラムにける参加者の役割・ミッションについて正しく理解することから始まりました。講義の冒頭、桜の紹介に大変喜んでいました。写真やイラストを多用して日本社会と文化について幅広く紹介されたので参加者は高い関心を持って聞いていました。特に、日本女性の社会進出と、家庭での夫との家事分担等についての話が印象に残ったようでした。主な質問は、「男性が家事や料理をすることに関する調査はあるか」「日本に私立大学が多い理由は何か」「草食系についてより詳しく知りたい」「出生数の減少は、社会や経済的な問題が原因か」「日本の方言について」「将来、日本とマレーシアの間に、より多くの教育分野における文化交流が期待できるか」「国際結婚について」「両親の片方または両方が外国人の子供たちが日本社会の中で抱える問題について」等、多岐に渡りました。</p>
2022年 3月24日 東京都	<p>【視察】</p> <p>国会議事堂バーチャルツアー</p> <p>1. 開会、講師紹介</p> <p>2. バーチャルツアー (スライドおよび映像による紹介) 「バーチャルツアー～国会議事堂～」 講師：ミキキートス 代表 庭野大地氏</p> <p>3. 質疑応答</p> <p>4. 記念撮影</p>	<p>スライドと映像と織り交ぜながらのわかりやすい説明を熱心に見入り、視察時間が足りないようでした。質疑応答でも、多くの質問がありました。主な質問は、「議事を取る人（速記）はなぜハンドライティングなのか」「与党と野党の関係はどのようなものか」「Emperor's Chair があるが、例えば誰かが座るルールを破った場合の罰則はどのようなものがあるか」「国会議事堂はこれまでリノベーションをしたことはあるか」「日本は立憲君主制と思うが、君主、天皇についての在り方はどのようなものか」「国会議事堂を見学する場合のドレスコードはあるか」など出されました。</p>
2022年 3月25日 愛知県名	<p>【女性起業家との交流】</p> <p>1. 各起業家の方によるプレゼンテーション</p>	<p>参加者は各講師の話に共感し、各講師との交流では称賛のメッセージが溢れました。また、多くの質問も出されました。主な質問は</p>

<p>古屋市、 岐阜県不 破郡</p>	<p>一般社団法人 DIVE.tv 代表理事 牧野 佳奈子氏 ゴートデザイン 代表 サンポーン 裕子氏 moily 代表 池宮 聖実氏</p> <p>2. 各起業家の方との個別交流（自由討 議、質疑応答等）</p> <p>3. 全体総括、閉会</p>	<p>以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ TV レポーター時代、最も大変だったお仕 事は何か。それをどのように克服されたか</li> <li>・ レポーターになるにはどんな学部を卒業 している必要があるか</li> <li>・ ご自分のお子様にも起業家になってほし いと願っているか</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の蔓延は、売り 上げにどのような影響があったか</li> <li>・ 販路は日本国内のみか</li> <li>・ カンボジアのかごを扱う理由は何か</li> </ul>
<p>2022 年 3 月 29 日 東京都</p>	<p>【ワークショップ】【報告会】</p> <p>1. ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アクション・プランの作成</li> <li>・ 報告会に向けた発表準備</li> </ul> <p>2. 報告会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開会</li> <li>・ 発表</li> <li>・ 講評（アンドラディク美氏）</li> <li>・ JICE からのお知らせ、閉会</li> </ul>	<p>【ワークショップ】</p> <p>時間の制約があるため、予めたたき台として のアクション・プランおよび発表資料を準備 し、一つ一つ話し合いで表現を修正、また発 表者を相談して確定しました。チームとし て、とてもスムーズな話し合いが行われてい ました。</p> <p>【報告会】</p> <p>発表は、四文字熟語や発信する内容の項目に 関しても言及するなど具体的であり、他参加 者からも共感を得ていました。</p>

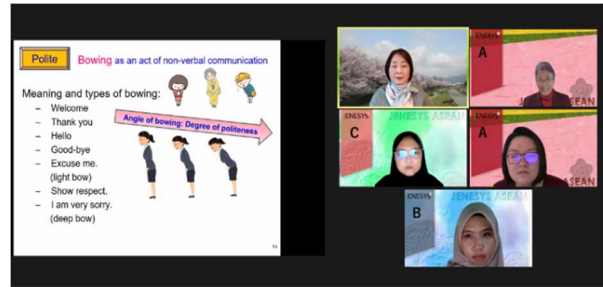
## 2. 記録写真

	
<p>2021 年 1 月 28 日【ウェビナー・質疑応答】 愛媛県の国際交流事業</p>	<p>2021 年 1 月 28 日【ウェビナー・質疑応答】 マレーシアとのホストタウン交流</p>
	

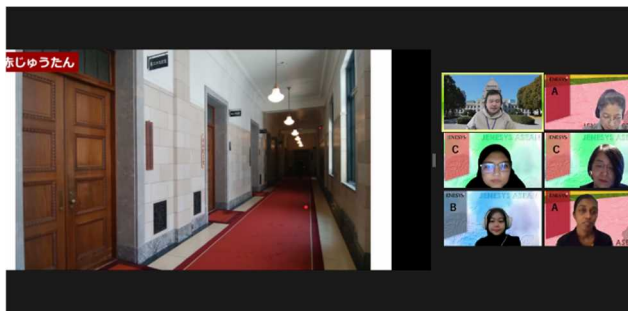
2021年1月28日【ウェビナー・質疑応答】  
愛媛県の魅力と国際交流員の活動紹介



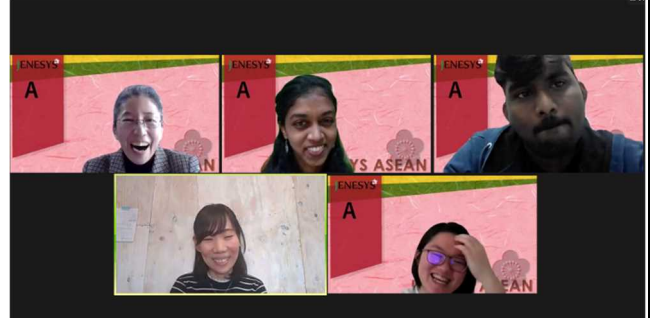
2021年1月28日【ウェビナー・質疑応答】  
質疑応答の様子



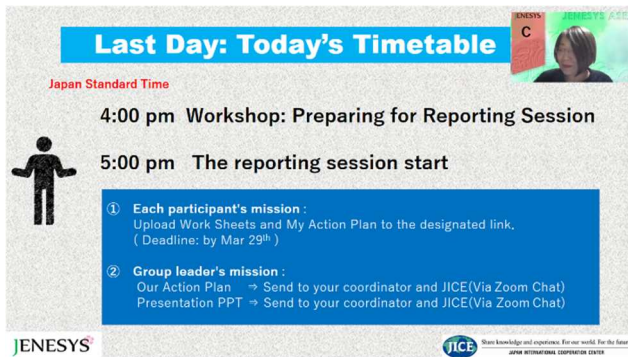
2022年3月23日【オリエンテーション】



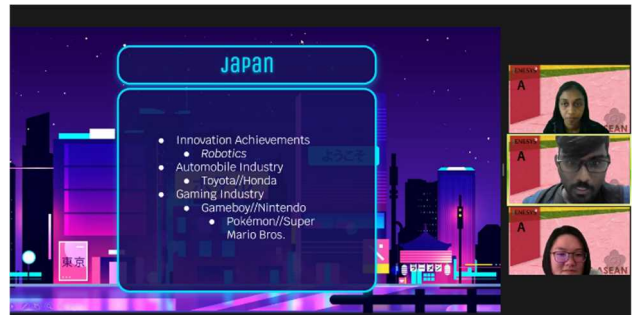
2022年3月23日【ウェビナー・質疑応答】



2022年3月24日【視察】  
国会議事堂バーチャルツアー



2022年3月25日【女性起業家との交流】



2022年3月29日【ワークショップ】

2022年3月29日【報告会】

### 3. 参加者の感想（抜粋）

#### ◆ 参加社会人

このプログラムに参加する前、私は愛媛について聞いたことがありませんでした。しかしプログラムを通して愛媛のことをたくさん知ることができました。温泉、みかん、猫島、そして愛媛の温かくて親切な人々などその魅力に触れて、今すぐにでも愛媛県を訪れたいと思いました。愛媛県の魅力を紹介してくださり、本当にありがとうございました。

#### ◆ 参加社会人

このプログラムに参加して、愛媛県のことをもっと知りたい、マレーシアと日本の両方を宣伝する

ために何かできないか、考えるようになりました。これから他のオンラインプログラムにも参加して、引き続き日本について学びたいと思います。

◆ **参加社会人**

何か新しいことを学べることは素晴らしいと思います。いつか、日本の学生や社会人と共に知識を増やしたいと思います。

4. **受入れ側の感想（抜粋）**

◆ **講師**

この度は、国内受入訪問地として参加させていただき、誠にありがとうございました。海外の方々が参加するオンライン講義をしたのは今回初めてでしたが、実施団体様からのサポートのおかげで、とてもスムーズにできたと思います。

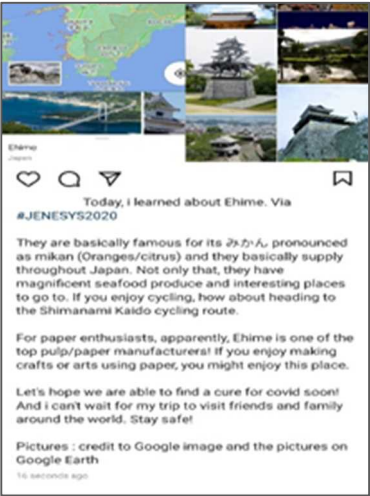
◆ **講師**

今回の講義は参加者対象が絞られていたので相応の資料の準備もある程度することができました。オンラインなので、残念ながら講義中は受講生の反応を直に見ることはできませんが、最終日の各グループの報告から、講義内容を十分に理解して頂けたことがわかり安心しました。

◆ **講師**

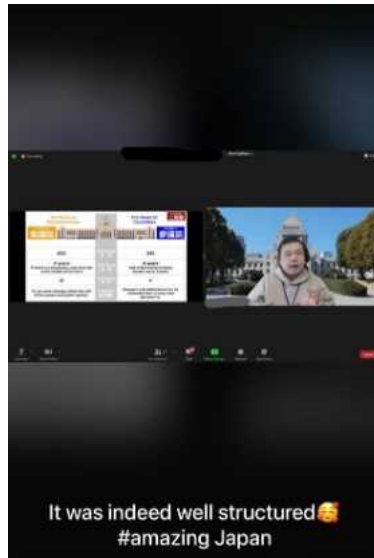
私はガイドの立場としての関わりではございましたが、マレーシアの皆様に興味を持ってご参加頂き、また質問やチャットを通じて交流体験が出来たことは非常に有意義でした。現在英語対応が出来ない為、ご案内できる量に大きな制約がございますが、英語対応をすることでより多くの方の役に立てることをと改めて痛感いたしました。素敵なお縁を頂きましてありがとうございました。

5. **参加者の対外発信**

 <p>The image shows an Instagram post from a user named 'Ehime Japan'. It features a collage of photos including a map of Ehime, a traditional Japanese building, a scenic view of a bay, and a person on a bicycle. The text in the post reads: 'Today, I learned about Ehime. Via #JENESYS2020. They are basically famous for its みかん, pronounced as mikan (Oranges/citrus) and they basically supply throughout Japan. Not only that, they have magnificent seafood produce and interesting places to go to. If you enjoy cycling, how about heading to the Shimanami Kaido cycling route. For paper enthusiasts, apparently, Ehime is one of the top pulp/paper manufacturers! if you enjoy making crafts or arts using paper, you might enjoy this place. Let's hope we are able to find a cure for covid soon! And i can't wait for my trip to visit friends and family around the world. Stay safe! Pictures : credit to Google image and the pictures on Google Earth. 14 seconds ago'.</p>	 <p>The image shows a Facebook post for 'JENESYS 2020 For University Students and Working Adults'. The main title is 'Host Town Webinar'. It features the Japanese and Malaysian flags and a photo of a scenic view. The text includes: 'Lecture by Ehime Prefecture (TBD) "Overview of Ehime Prefecture" "History of Exchange" "Host Town Initiatives" Free Webinar Thursday, January 28, 2021 4:00 pm to 5:00 pm (Malaysia)'. At the top, there is a testimonial: 'I was excited to hear about the places in Japan I didn't know about! It was very interesting and piqued my interest more towards Japan, like the Aoshima a.k.a. the island of cats, where the population of cats is higher than the population of the people there! XD And the mascot of Ehime, Mican! Unfortunately because of the pandemic, we can only do an online session in getting to know these places 🥺 It's quite sad but I hope the condition for both countries in handling the pandemic will get better soon. Thank you for the alternative exchange program!'.</p>
<p>2021年1月28日（Instagram） JENESYS オンラインプログラムに参加して愛</p>	<p>2021年1月28日（Facebook） 初めて知る愛媛県の情報を知りたくて</p>

媛について学びました。愛媛はみかんの産地で全国に出荷しています。また海の幸もおいしく、見どころがたくさんあります。サイクリング好きなら、しまなみ街道も最高です。紙の生産でも有名なので紙を使ったアートに興味がある方は訪れるべきです。コロナが収束したら是非行ってみたいです。

した。猫がいっぱいの青島は、人より猫の数の方が多いそうです。そして県のマスコットのみきゃん。コロナでオンラインセッションしかできませんが、この状況が徐々に良くなることを祈っています。コロナ禍においてもこのような交流プログラムを実施してくれてありがとうございます。



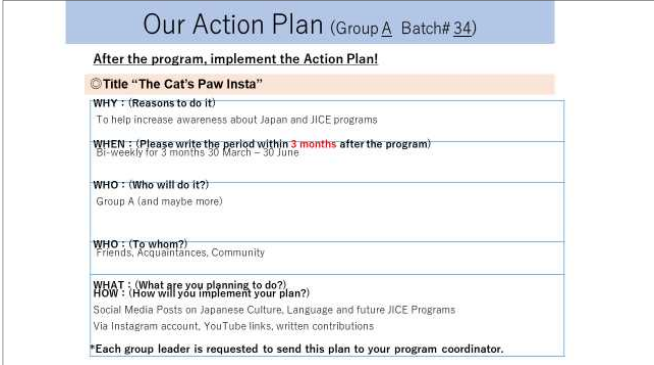
2021年1月28日 (Instagram)  
興味深く、情報満載のオンラインイベントを開催し、愛媛県のことやJETプログラム国際交流員ファラさんの経験をシェアしてくれてありがとうございました。このようなJENESYSのオンラインイベントにまた参加したいです。愛媛県や日本に行くことが楽しみです。

2022年3月24日 (Facebook)  
とても良く構成されていました。



2022年3月29日 (Facebook)  
4日目: みんなでやれば負担が減ります。何事も一期一会です。今を大切にしましょう。

## 6. 最終報告会でのアクション・プラン発表

 <p><b>Our Action Plan (Group A Batch# 34)</b></p> <p>After the program, implement the Action Plan!</p> <p>◎ Title “The Cat’s Paw Insta”</p> <p><b>WHY : (Reasons to do it)</b> To help increase awareness about Japan and JICE programs</p> <p><b>WHEN : (Please write the period within 3 months after the program)</b> Bi-weekly for 3 months 30 March – 30 June</p> <p><b>WHO : (Who will do it?)</b> Group A (and maybe more)</p> <p><b>WHO : (To whom?)</b> Friends, Acquaintances, Community</p> <p><b>WHAT : (What are you planning to do?)</b> <b>HOW : (How will you implement your plan?)</b> Social Media Posts on Japanese Culture, Language and future JICE Programs Via Instagram account, YouTube links, written contributions</p> <p>*Each group leader is requested to send this plan to your program coordinator.</p>	<p style="text-align: center;">「猫の手インスタ」</p> <p>■ 実施理由： 日本や JICE のプログラムを広く知ってもらうため</p> <p>■ 実施時期： 3月30日～6月30日の間、2週間ごとに実施します。</p> <p>■ 実施する者： グループとその他の人々です。</p> <p>■ ターゲット： 友人知人、コミュニティの人々に対してです。</p> <p>■ 実施方法： 日本文化や今後の JICE プログラムについて記事等、インスタグラム、ユーチューブに載せます。</p>
---	--

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）